

## 平成29年度 火山防災対策予算について

## (1) ① 新 弥陀ヶ原火山ハザードマップ作成委託(15,730千円)

## ① 概要

火山噴火履歴調査結果(H27・H28年度富山大学委託)等も参考に、火山防災協議会における噴火シナリオの議論を踏まえ、火山ハザードマップを作成するもの

噴火に伴う現象と及ぼす影響の推移を時系列で示したもの

避難等の防災対応をとるべき危険な範囲等を示したもの

## ② 火山ハザードマップの作成

噴火現象(噴石、降灰等)の影響範囲と国土交通省作成の土砂移動の影響範囲や環境省作成の火山ガスによる歩道通行止等の情報を合成し、1枚のマップとして図示する。

## (2) ① 新 弥陀ヶ原火山活動調査研究事業(1,500千円)

## ① 概要

火山研究に取り組んでいる富山大学に弥陀ヶ原の火山活動の調査研究を委託することにより、火山データの蓄積を図るとともに火山活動の分析を進めるもの

## ② 内容

ア 地獄谷の2地点(雷鳥荘直下及び新大安地獄)の溶解硫黄の噴出量をタイムラプスカメラで観測

一定間隔で連続撮影した静止画を組み合わせて動画を作成

イ 定期的に地獄谷の熱活動の変化をドローンにより観測

赤外線サーモグラフィカメラを搭載

## (3) ① 拡 火山防災啓発事業(1,500千円)

## ① 概要

今年度から外国人を含む観光客等に弥陀ヶ原周辺の防災情報の周知・啓発を実施しているが、外国語に新たにタイ語を追加するとともに、チラシに加えコンパクトなカードを作成・配布するもの

## ② 内容

(現行)英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語

ア チラシの作成

(ア) サイズ等 A4表裏

(イ) 言語 日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、タイ語

(ウ) 掲載内容 弥陀ヶ原の火山噴火・ガス情報、室堂周辺の地図、防災グッズ、万が一の噴火時の備え等

(エ) 配布場所 アルペンルート沿いの駅・宿泊施設、県内の交通機関・宿泊施設、学校等

(オ) 印刷部数 30,000部

イ カードの作成

(ア) サイズ クレジットカード大(材質:紙)

(イ) 言語 日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、タイ語

(ウ) 掲載内容 弥陀ヶ原が活火山である旨の記載、関連ウェブサイトのQRコード

(エ) 配布場所 立山有料道路桂台料金所、地鉄富山駅、立山駅、立山あるペン村等

(オ) 印刷部数 90,000枚

## (4) 観光・防災Wi-Fiステーション保守管理(1,546千円)

外国人を含む観光客等が集中する立山室堂地区において、気象情報をはじめとした防災情報の迅速・的確な取得手段を確保するため、Wi-Fi設備を運用するもの。

## (5) 弥陀ヶ原火山防災協議会等開催経費(800千円)

弥陀ヶ原火山の噴火時の総合的な避難対策等を検討し、火山災害に対する防災体制の構築を推進するため、弥陀ヶ原火山防災協議会及び幹事会等を開催する。